

指定校番号	30034	学級活動	生徒会活動	<input type="radio"/> 学校行事	別紙様式
-------	-------	------	-------	----------------------------	------

平成30年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	廿日市市立廿日市中学校	校長	枝廣 泰知	生徒指導主事	濱田 真司
-----	-------------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『津波を想定した避難訓練』

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「集団行動」	3	「主体性・積極性」	2	「生命尊重・知識・情報」	1

取組のねらい『実践的な訓練』

地震・津波発生時に適切に行動できるよう、避難経路及び安全で迅速な行動について理解し、実践的な訓練を行うことで体得する。

取組の具体的内容『地震・津波想定』

地震発生後に津波が来るという想定で行った。地震に対して身を守る対応の後に、グラウンドに避難。避難が完了した学級から近隣の高台にある公園に避難を開始する。公園で避難行動についての評価や意義等の訓話を行う。その後全員で学校に戻る。

取組の課題・創意工夫『生徒主体』

学校として初めて実施した訓練であったため、不安材料も多かった。職員の気づきや反省の中にも生徒の主体性について事前指導の不足を指摘する声があった。生徒が自分のこととして緊張感をもって訓練に参加できるような工夫が今後必要となる。

取組の成果（効果）『防災意識』

想定していた30分を大きく上回り、避難開始から16分58秒で全校生徒514名の避難が完了した。夏の集中豪雨災害を経験し、生徒の防災意識の高まりを感じることができた。また、訓練に関わって、立哨指導など多くの地域の方にボランティアとして御協力いただいたことや、その方々に生徒の避難行動や避難後の話を聞く態度について良い評価をいただくことができた。また、肢体不自由学級の生徒の避難や安全確保に関わるスタッフの動きについて、危機管理の視点から考えることのできる良い機会となった。





今後の展開『防災教育』

社会情勢の観点からも防災教育の重要性は年々高まっており、毎年実施すべきだという意見も職員からでている。今回初めて実施したことで多くの課題や改善点が見えてきた。生徒の主体性がそれを今後の自然災害や火災に対する訓練に活かしていきたい。

他教科との関わり『知識・理解』

保健体育科：環境と健康

理科：地学分野・地震発生メカニズムとその影響

社会：日本の地理的特徴と自然災害